

土地利用基本計画の内容

- ・ 計画書：土地利用の調整等に関する事項を記した文書
 - ①土地利用の基本方向
 - ②五地域区分の重複する地域における土地利用に関する調整指導方針
 - ③土地利用上配慮されるべき公的機関の開発保全整備計画
- ・ 計画図：五地域（都市、農業、森林、自然公園、自然保全）を5万分の1の地形図上で記したもの

〇〇県土地利用基本計画計画書(抄)

1. 土地利用の基本方向

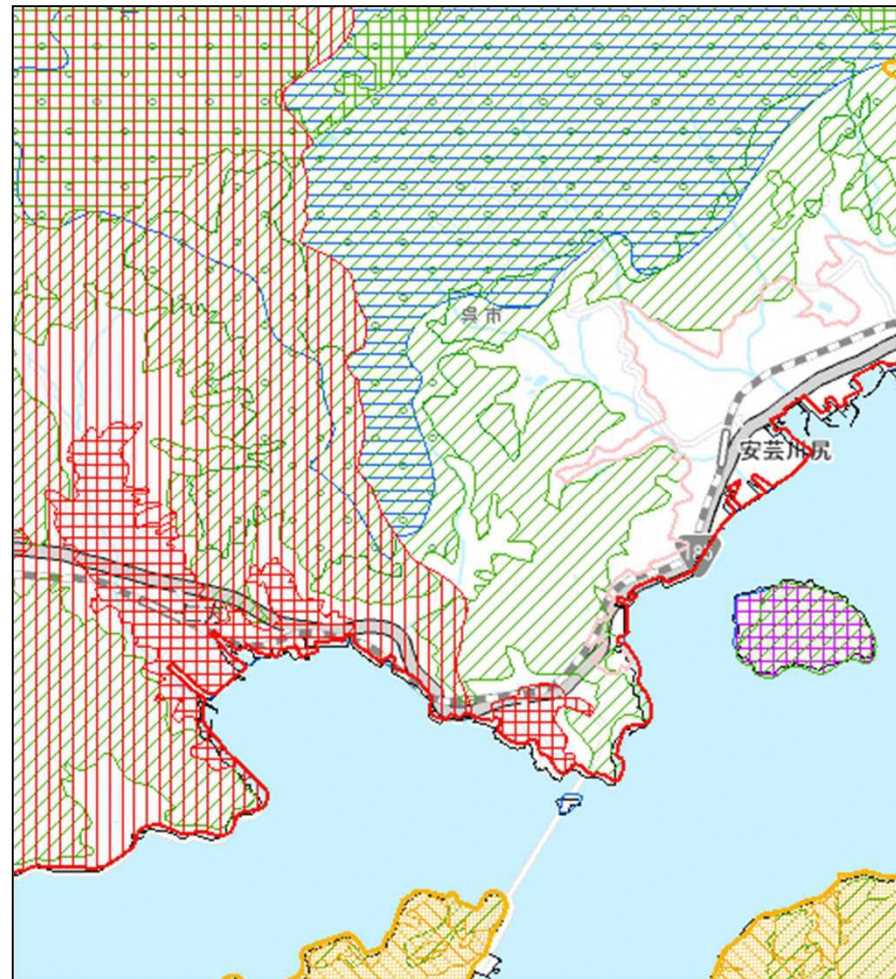
(1) 県土地利用の基本方向
県土全体と、地域別に記載。

















(2) 土地利用の原則

- ①都市地域
市街化区域においては、…。
市街化調整区域においては、…。
- ②農業地域

2. 五地域区分の重複地域における調整指導方針

- (1) 重複地域における土地利用の優先順位、土地利用の誘導の方向等
- ①都市地域(市街化区域及び用途地域以外)と農用地区域が重複する場合
→農用地としての利用を優先するものとする。
 - ②農業地域と自然公園地域(特別地域)が重複する場合
→自然公園としての保護及び利用を優先するものとする。
- (2) 特に土地利用の調整が必要と認められる地域の土地利用調整上留意すべき基本的事項



五 地 域	記 号
参考表示	
都市地域	
市街化区域	
市街化調整区域	
その他都市地域における用途地域	
農業地域	
農用地区域	
森林地域	
国 有 林	
地域森林計画対象民有林	
保 安 林	
自然公園地域	
特 別 地 域	
特別保護地区	
自然保全地域	
原生自然環境保全地域	
特 別 地 区	

五 地 域 区 分	五 地 域 区 分			都 市 域		農 業 地 域	森 林 地 域	自 然 公 園 地 域	自 然 保 全 地 域				
	細 区 分			市 街 化 区 域 及 び 用 途 地 域	市 街 化 調 整 区 域	そ の 他	農 用 地 区 域	そ の 他	特 別 地 域	普 通 地 域	原 生 自 然 環 境 保 全 地 域	特 別 地 区	普 通 地 区
都 市 地 域	市街化区域及び用途地域												
	市街化調整区域			×									
	その他の			×	×								
農 業 地 域	農用地区域			×	←	←							
	その他の			×	①	①	×						
森 林 地 域	保安林			×	←	←	×	←					
	その他の			②	③	③	④	⑤	×				
自 然 公 園 地 域	特別地域			×	←	←	←	←	○	○			
	普通地域			⑥	○	○	○	○	○	○	×		
自 然 保 全 地 域	原生自然環境保全地域			×	×	×	×	×	×	←	×	×	
	特別地区			×	←	←	←	←	○	○	×	×	×
	普通地区			×	○	○	○	○	○	○	×	×	×

[凡例]

- × 制度上又は実態上、一部の例外を除いて重複のないもの
- ← 相互に重複している場合は、矢印方向の土地利用を優先する
- 相互に重複している場合は、両地域が両立するよう調整を図る
- ① 土地利用の現況に留意しつつ、農業上の利用との調整を図りながら都市的な利用を認める
- ② 原則として都市的な利用を優先するが、緑地としての森林の保全に努める
- ③ 森林としての利用の現況に留意しつつ、森林としての利用との調整を図りながら都市的な利用を認める
- ④ 原則として農用地としての利用を優先するものとするが、農業上との利用との調整を図りながら森林としての利用を認める
- ⑤ 森林としての利用を優先するものとするが、森林としての利用との調整を図りながら農業上の利用を認める
- ⑥ 自然公園としての機能をできる限り維持するよう調整を図りながら都市的利用を図る

(注.) 個別規制法の制度等及び土地利用基本計画作成要領(S53.12.1国土庁土地局長通達)に基づき作成。
 ただし、土地利用基本計画作成要領については、地方分権一括法の施行(H12.4.1施行)に伴い失効している。